

先輩からの声

(第一期研修生 浦田さん)

蒲郡市外出身の浦田さんは、平成26年に国及び市の研修事業があると知ったとき、「魚が好きな自分が漁師を始められるチャンスだ」と思ったそう。それまでの仕事をやめ、蒲郡に移り住み、漁師になるために研修生になることを決意。奥さんの理解を得ながら、現在は2児のパパとして、毎週海に出て、たくさんの種類の新鮮な魚介類を獲っている。



浦田さん

1 浦田さんの漁師になるまでの経歴

平成26年5月	研修生の募集があることを知り、応募
平成26年10月	内湾船の漁師のもとで、研修開始
平成29年9月	3年間の研修を無事に終える
平成29年11月	県内の漁船を譲り受け、独立して漁業開始

2 浦田さんへのインタビュー (Q&A)

Q1 漁師になって一番良かった点は何ですか。

A1 自由なところです。(漁、網仕事、休みなど…)

1人の仕事だから全部を自分で決められます。大変なことは多いけど、やればやっただけ結果は漁獲で返ってくるし、やり甲斐があって自由な感じはとても良いです。



研修前、体験漁業の様子

Q2 研修中、苦しかったことは何ですか。

A2 独立に向けた不安です。まだ後を継いで漁師になる人が多い漁業界で、素人のよそ者が数年で独立して生計を立てられるのか？と不安にかられました。必死で勉強したので独立後にその不安は晴れましたが。後は人間関係。これはどこに行ってもつきものですね。

Q3 独立して漁師になって、変わったことは。

A3 自由な仕事である反面、自分を守ってくれるものもありません。自分の行動が家族の生活を左右すると思うと無駄な時間を過ごさなくなり、自分が意味無いと思ったことはしなくなりました。これがサラリーマンの頃との大きな違いです。独立したことで安定がなくなった分、仕事や対人に責任感がつきました。

あとはよく飲みに行くようになったことですかね！漁師仲間と！



研修中、箱に並べた魚を確認する浦田さん

Q4 最後に、一言お願いします。

A4 自分が好きなことを仕事にするのはやっぱり楽しいです!!
大変な時も多々ありますが、やり甲斐と感ぜられるのは好きだからこそ!
海や魚介類が好きな人、一緒に漁師やりましょー!!
仲間が増える事を楽しみにしています!



浦田さんの所有船「礼月丸」



研修中、親方からはたくさんのことを教わりました

浦田さんの1日
～夏、操業時～

4:00 起床
4:30 知柄漁港を出港
5:30 漁場に到着し網入れ
6:00 網上げ～船上で選別

以下、網入れと選別繰り返し
(1回あたり30分)

16:00 漁場を出港
17:00 知柄漁港に到着

翌日

1:30 漁獲物を選別し、トロ
箱に並べセリの準備
3:50 セリに出して終了

問合せ先 蒲郡市産業振興部農林水産課水産担当
電話 0533-66-1126 (ダイヤルイン)
ファックス 0533-66-1188